



すだ 須田こうへい

県政レポート

立憲民主党・民権クラブ 横浜市旭区政務活動事務所

〒241-0022 旭区 鶴ヶ峰2-9-11 ビッグフィールド2F-2

TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445

E-mail:sudaname.net@gmail.com

須田こうへい プロフィール

- ◇神奈川県議会議員(横浜市旭区選出)…30,961票でトップ当選
- ◇所属会派:立憲民主党・民権クラブ
- ◇早稲田大学商学部卒業 / 巣鴨学園卒業
- ◇元・江田憲司公設秘書、古賀茂明Forum4メンバー
- ◇コンサル会社を経て、輸入車ディーラー取締役。後に保険代理店代表。民間経営者×秘書経験の「現場力」

- ◇政治信条:「改革はするが、戦争はしない」
「政治は社会的弱者のためにある」
- ◇横浜へのカジノ誘致にNO!…横浜市民との公約を実現!!
- ◇学童保育、ボーイスカウト・ガールスカウト、女性活躍、武道振興(※柔道初段)、海外親善等の議連所属
- ◇横浜市青少年指導員経験 / PTA会長 / 南本宿町在住

令和5年度予算と今後取り組むべき県政課題について

1 一期目の最大の公約

横浜への カジノ誘致に No!	神奈川(横浜)の 中学校給食に YES!
------------------------------	-----------------------------------

**達成
しました!!**

全県で美味しい
中学校完全給食が
実現するよう、
さらなる改善を
目指します!

2 今後ともコロナ禍を乗り越えるため
県政をアップデートしてまいります!

デジタルトランス
フォーメーション
DX
グリーントランス
フォーメーション
GX
メディカルトランス
フォーメーション
MX

「コロナ対策×DX」
としてオンライン診療
導入に成果をあげました

GXは「原発ゼロ社会」と
「脱炭素社会」を両立
させる自然エネルギーの
利活用を推進します!

3 また **子育て支援の強化** と、老後の安全・安心に
つながる **高齢者福祉の充実** に取り組みます!

財源を生み出すためには
行財政改革も必要です!

「見える化」
の徹底と 公民共創で 住民
サービスを強化

4 無党派層の
声を聴く

しがらみのない
公平・公正でクリーン
な政治を目指します!

須田こうへい
をよろしく願います!

神奈川県政にイノベーションを巻き起こす!

来年度に向けて、第一回定例会では県予算の審議がなされます。予算規模は実に4兆円～5兆円にもおよびます。

特に新型コロナウイルス感染症については、5月にも感染症法の位置付けが2類相当から5類へと変更される見通しですが、県予算としては現行制度のまま巨額な対策費用を計上せざるをえない、といったスケジュール上の問題が発生します。

また、会派の予算要望ヒアリングでは、様々な業界団体や労働組合の皆様とも意見交換をさせていただきました。現職としての活動実績や政策にご理解を賜り、ありがたいことに推薦状をいただく機会にも恵まれました。引き続き、政治信条としては「無党派層の声を聴く」「しがらみのないクリーンな政治」を貫きます。様々な声を頂戴することで、「公平」「公正」な政治の実現を目指します。

私が、あなたの声になる。神奈川県政から国を変える、横浜市を動かす。

所属会派、立憲民主党・民権クラブで、今後実現を目指して取り組んでいく共通政策集の作成をいたしました。下記は県議団による共通政策(マニフェスト)です。

前号で地域の皆様に素案をお示しし、様々なご意見を頂戴しました。国や市へのご要望も多く、「神奈川から国を変える、横浜市を動かす」視点で取り組んでまいります。



1. まっとうな政治を取り戻す

- ・利権やムダの排除
- ・行政の見える化
- ・あくなき行財政改革
- ・議員自ら身を正す改革
- ・公民共創の推進
- ・NPO等に対する寄附金控除の拡大

2. 物価高に負けない経済政策

- ・賃金アップ
- ・増税ありきの防衛費増は認めない
- ・中小企業の事業強化/転換支援

3. 社会が支える子育て支援

- ・教育費の軽減(給食費無償化、県外私立高校通学者への学費補助、給付型奨学金強化)
- ・保育/教育の質の向上
- ・フードバンク・子ども食堂の普及
- ・パパ育休促進
- ・こどもの権利条例の制定

4. コロナから社会的弱者を守る

- ・ワクチン、医療の公費負担の継続
- ・高齢者の感染対策
- ・セーフティネット強化

5. 働くひとを全力支援

- ・非正規社員の待遇改善
- ・ハラスメントの根絶
- ・働き方改革
- ・通勤ラッシュ緩和
- ・エッセンシャルワーカーの待遇改善/人材確保
- ・創業、事業承継の支援
- ・公契約条例の制定

6. 高齢者がいきいきと暮らせる社会

- ・高齢者の足となる移動手段
- ・老人ホーム(特養)の入居待ち解消
- ・介護人材の確保
- ・認知症対策
- ・地域コミュニティの強化

7. 障がい者が暮らしやすい環境づくり

- ・バリアフリーの強化
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・賃金アップ/雇用機会拡充

8. どこよりも安全・安心の暮らし

- ・急傾斜地防災工事の推進
- ・津波高潮対策
- ・防犯カメラ設置支援
- ・特殊詐欺対策
- ・日米地位協定の見直し
- ・鳥獣被害対策

9. 再生可能エネルギーの推進

- ・脱原発
- ・エネルギーの地産地消で地域の活性化
- ・新エネルギー産業の創出

10. 多様な生き方を認め合う社会

- ・ジェンダー平等社会の実現
- ・ヘイトスピーチ撲滅
- ・パートナーシップ制度の推進
- ・ペットとの共生

1 国・県・市の連携で、「物価高」に負けない経済対策・所得向上

コロナ禍・物価高以前から、日本は経済成長出来ず、また、賃金も上がらない悪循環が続いていました。「公益資本主義(働く人と家族、地域、環境など三方良しの経営)」と「賃上げ」、県は国・市と連携を強化した上、県民への経済振興施策実施や中小企業の支援が必要です。

街頭コミュニケーション活動で一番多くのお声をいただきました。地域の声を政策の原点として活動します。

2 防衛増税の前にやるべきことがある。「行財政改革」徹底で、増税を阻止

防衛費は5年で43兆円にもものぼる大幅増額が自民党政権により閣議決定。しかし、安易に増税ありきの議論は認められません。増税の前に、徹底した行財政改革が必要です。須田こうへの取り組んできた「見える化」「公民共創」は会派公約として採択され推進されます。

神奈川県は全国2位の基地県。横浜ノース・ドックの新部隊問題もあり、「日米地位協定の改定」も必要です。

3 老後の安心を守る「医療提供体制」と「地域包括ケアシステム」の強化

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へなる中、特に社会的弱者など、県民の自己負担軽減に向け取り組みます。また、老後の医療・福祉を地域全体で包括するケアシステムの構築にあたっては、障がい者福祉や多文化共生の視点も入れ、「真の地域包括ケア」を目指します。

今後は妊産婦の産前産後ケアなど、高齢者だけでなく、あらゆる世代にとって「地域包括ケア」が必要です。

4 子育て世代を支える「美味しい中学校完全給食」を全県で実現

一期目の主要公約として本会議や委員会での質疑で精力的に取り上げ、県教委で学校単位ではなく、生徒数単位での実施率調査がなされる等の具体的な成果をあげました。今後は、食育・フードロスの観点からも、残食量の低減⇒「美味しい給食」に向けて取り組みます。

地域事情と予算面での制約がある中、保護者の要望をどのように実現していくべきか、が政治の役割です。

5 DX・GX・MX…デジタル・グリーン・メディカルの3大変革

今期はDXを重点課題として取り組み、県の内部事務のデジタル化や、県民の行政手続きのオンライン化、県施設へのキャッシュレス決済の導入等を推進しました。来期はGX(グリーン・トランスフォーメーション)に力をいれ、脱炭素社会と原発ゼロ社会の両立を目指します。

医療では「オンライン診療」の導入に成果をあげました。コロナ禍を契機に医療提供体制の変革も進めます。

コラム：神奈川の明日に種をまこう！

私、須田をはじめ厚生常任委員会所属の立民議員の多くは県連の「ジェンダー平等推進委員会」の役員も務めています。勉強会開催にあたり、私からは解決すべき社会課題として「男性の育休取得」を提案いたしました。

育児休暇は女性が85%近く取得しているのに対し、男性は上昇傾向にはあるものの15%未満の低水準となっています。また、育休取得期間も女性は95%超が上が6ヶ月以上となる一方、男性は半数が2週間未満となっています。

本県から、男性の育休取得促進に取り組む好事例が生まれるよう、引き続き提言を続けてまいります。



最新情報は
facebook
で発信中!



県民の声をお聞かせください!
(下記QRからメールでも送れます)
FAX:045-444-9445

声を、力に。

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11 2F-2
TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445
HP:<https://www.sudakohei.net>
Eメール:sudamame.net@gmail.com



※法令を遵守し、「須田こうへの」政治活動にのみ使用いたします。(須田こうへのの県政レポートや各種イベントのご案内を配信、郵送させていただきます)

ご意見・ご要望など	運名①	運名②	運名③	お名前	フリガナ	TEL	045-
	E-mail			ご住所	横浜市旭区 建物名	FAX	045-
	ご支援内容			Mobile			
							<input type="checkbox"/> 県政レポート定期送付のお申込み <input type="checkbox"/> 党員・協力党員ご登録 <input type="checkbox"/> 政務活動ボスターのご掲示 <input type="checkbox"/> ボランティア・インターン生体験登録

ボトムアップ型の草の根民主主義で、神奈川県政から明日を変える!

連日連夜、時には氷点下の日にも県政報告を実施し、広報・公聴活動として県民の皆様のご意見をいただいております。新型コロナウイルス感染症対策特別委員会では、実際にコロナに罹患された方の体験談をもとに運用改善について質疑し、神奈川県ホームページでのオンライン診療の告知等において、実際に改善が図られました。今後もボトムアップ型の政策提言を続けてまいります。

また、横浜市や国会へのご意見についても、国・県・市の連携を強化し、課題解決を目指します。

県政重点課題として4年間取り組んでまいりました「中学校完全給食」については、横浜市の中期計画にて26年度以降、全員に給食が提供されることが示されました。県内では、デリバリー型だけでなく、自校調理、センター方式、親子(兄弟)方式など、より地域要望に即した形で実施を検討する自治体もあり、今後とも県教育委員会に「美味しい完全中学校給食」導入に向けた提言を続けます。



国政では、防衛費増を理由とする増税についての反対意見や、物価高騰についての切実な声を頂戴します。また、「少子化対策」「子育て支援」は県政においても大変重要です。子育て世代・共働き世代の代弁者として引き続き活動してまいります。

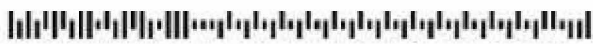
右下の表に、主な政治テーマについて須田こうへいの政見を記載しました。「中道リベラル～穏健保守」&「改革派」の立ち位置で活動しています。

政治は未来の選択です。「政策」の変化によって、私たち県民の明日の「生活」が変わります。



2 4 1 8 7 9 0

横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11
ビッグフィールド2F-2
須田こうへい事務所 行
FAX:045-444-9445



皆様のお声をお聞かせ下さい。(地域のお困り事、県政へのご意見など)

